

## 新年あけまして

おめでとうございます



普代村長 深渡 宏  
ふかわたり・ひろし

謹んで村民の皆さまに新春のごあいさつを申し上げます。

昨年を顧みますと、まさに激動の1年だったように思います。世界では北朝鮮の核実験が国際社会を揺るがし、国内ではいじめによる自殺や飲酒運転による交通事故が社会問題化、さらには数々の不正などが起こりました。

その中で、国内政治は5年半の小泉政権の後を受け、安倍内閣が「美しい国、日本」を掲げ発足しました。

しかし、依然として少子高齢社会や格差社会に歯止めがかからず、消費税率の引き上げも議論され、国民への負担も強いられる状況にあります。まさに今の日本は先行き不透明で、日常生活に不安を抱える人も少なくないと感じております。

村でも国からの地方交付税の総額抑制や補助金の削

減など、依然として厳しい状況であり、これからの行政運営はさまざまな事業の成果や課題を検証し、その中から「選択・集中」する時代に入ってきております。

一方、暗い話題の続く中、スポーツでは久慈工業高校3年の芦渡翔君が重量挙げ競技で活躍したほか、普代中学校の躍進も目覚ましく、また、村初のプロ野球選手・銀次選手も一軍を目標

指し頑張っているところで、4年目を迎えた「ふだいまるごと海産まつり」は、村内外から村の人口を超える5千人以上が訪れるなど盛況に終え、村民手づくりのコンサートも開かれ、村の財産として育ってきたと確信できるものです。

平成の大合併から約1

年。当面自立を選択した村では、行財政改革を進め、その目標も達成に近づいています。これも村民の皆さまのご理解とご協力があったることと感謝しております。

10月の低気圧災害、さらに年の瀬の大雨災害と、予期せぬ災害のつめ跡を残したままスタートした平成19年ですが、災害復旧をはじめ、新年度の予算編成、小学校の統合問題、行財政改革のさらなる推進など課題は山積みです。しかし、これらの課題を

克服したとき、必ずや明るい未来が訪れるとわたしは確信しております。この先行き不透明な厳しい時代に、これまで築き上げてきたこの普代村を、さらに、安心して暮らせる希望の村とするために、「協働」の皆さまとともに「協働」の精神で、着実に躍進する年とすることを誓い合いたいと思っております。

## 希望の古里づくり 皆さんと飛躍を誓う

これら課題を克服したとき、必ずや明るい未来が訪れるとわたしは確信しております。この先行き不透明な厳しい時代に、これまで築き上げてきたこの普代村を、さらに、安心して暮らせる希望の村とするために、「協働」の皆さまとともに「協働」の精神で、着実に躍進する年とすることを誓い合いたいと思っております。